

川越町のまちづくりに関する団体アンケート調査

結果報告書

令和7年4月

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
II	調査結果	2
(1)	団体の活動上の課題と町に期待することについて	2
(2)	川越町の現状について	4
(3)	これからのまちづくりについて	8
(4)	今後の活動意向について	12
(5)	まちづくりへの自由提案など	14

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第7次川越町総合計画後期基本計画の策定に向けて、町内で活動等を行っている各種団体を対象に、川越町のまちづくりにおける課題や、これから必要な取り組みなどについての考えを把握することを目的に実施しました。

2 調査対象

川越町内で活動する各種団体を対象に実施しました。

3 調査期間

令和7年1月30日（木）から2月14日（金）

4 調査方法

郵送による配布、回収（希望者にはメールでの回答・回収）

5 回収状況

以下の31団体から回答を得ました。

回答団体一覧（31団体）50音順

NPO法人子育てサポートほっとまむ、あいあいホール企画委員会、アイリスかわごえ、朝明商工会、朝明商工会女性部、朝明商工会青年部、川越音頭保存会、消防団、食生活改善推進協議会、身体障害者福祉会、スポーツ推進委員協議会、ボランティア連絡協議会、民生・児童委員協議会、老人クラブ連合会、川越FAGクラブ、健康かわごえ推進協議会、ごみ問題対策協議会、社会教育委員会、社会福祉法人日の本福祉会、社会福祉法人川越町社会福祉協議会、スポーツ協会、青少年育成町民会議、青少年指導員連絡協議会、青年団、豊田一色ホテル会、豊田ホテルを育てよう会、文化財調査委員会、保護司会、スポーツ少年団、四日市人権擁護委員会、(株)JAみえきたアグリ

Ⅱ 調査結果

(1) 団体の活動上の課題と町に期待することについて

問2 貴団体の活動における課題や、その解決に向けて町に期待することがありましたらご記入ください。

団体における活動上の課題や、その解決に向けて町に期待することがあると回答したのは26団体となっています。

活動上の課題や町に期待したいことの内容をみると、主に「役員や会員等の人材確保」をはじめ、「活動の周知」、「環境・施設改善」などに関する意見が挙がっています。

《団体の活動上の課題と町に期待すること》

分野	団体の活動上の課題と町に期待すること
役員や会員等の人材確保	3年一期の任期。最近はなり手がいない地区もあり、説得にも苦慮している。若い人がなれないか？
	長い間、各地区からの委員選出、人員確保が大変だと聞いており、来期より選出方法を変えることとなったが、現在の方々が多く残留いただけるようになった。男性委員がいてくれたら良いと思うが、現在は女性のみ。
	1点目は、スポーツ推進委員の定員減がここ10年以上続いている。町内の知人を介して青年・壮年世代の新人発掘を心がけているが、なかなか加入に至っていない。地区組織体からの推薦方式へ働きかけ、委員は準職員扱いであり一般公募も一考してはどうか。
	2点目は、本団体への行事参加者の構成が種目により異なり、幼児、小学生や高齢者となっている。近年ではスポーツ協会や他の団体と共同した種目を取り入れて青年、壮年層の参加を募っている。イベント案内、情報の発信には紙媒体からSNSへの切替も併用しており、更なる支援・協力をお願いしたい。
	高齢化の進展。
	若い人がいない。70歳以上。
	高齢化による会員の減少、後継者の問題(若い世代へのお誘い)。
	会員の高齢化。事務局を町が持っていることは大変ありがたい。町内の女性団体が少ないため、女性向けの勉強会等の顔繋ぎの機会を作してほしい。
	老人クラブ存続の危機。会員の高齢化、役員のなり手不足等により、単位クラブの解散など、老人クラブを取り巻く状況は年々厳しくなっている。社会福祉協議会の指導協力が必要不可欠。
	活動しているボランティアの高齢化と、人員の減少が課題。町には、町民へのボランティアへの参加意欲の醸成をお願いしたい。
	経営者の高齢化による事業承継問題。それに伴い事業承継が進まない場合、廃業者の増加につながり、管内の小規模事業者数及び会員数の減少につながる。
	女性部員の高齢化が進んでいるため、継続して今後の活動を行っていくには、事業の見直しが必要となっている。創業した若い女性の方にも魅力を感じてもらえるように、町には活動の支援をお願いしたい。
	45歳以下の青年部員の減少により、継続して今後の活動を行っていくには、事業の見直しが必要となっているので、町には活動の支援をお願いしたい。
活動の周知	支援員の確保に苦勞している。町には桑名市がやっているような市の公式LINEなどによる求人をしていただけると助かる。
	全員の活動参加が少ない。なかなか任期期間が長く続かない方が多い。
	地区からどのような活動をするのか詳しい内容を伝えられずに選任されている。町民の皆様には指導員の活動内容をあまり知られていないのではないかと。
	活動を通じて思いや願い、メッセージを伝え、普及しているが、今後さらに具体的な動きが地域や各家庭で生じていくことが懸念される。

分野	団体の活動上の課題と町に期待すること
	活動内容の周知に向けて、町にはケーブルテレビや広報紙でPRしてもらっているのですが、今後も取り上げていただけるとありがたい。
環境・施設改善	夏は昼間が暑いので、野球場のナイター使用ができるように。 用水路の石積みが崩れそうな場所があるため、補修してほしい。
活動内容の改善	業者から提案のあった中からの選定なので範囲が狭くなってしまう。
費用	指導員の活動費の見直し。物価高騰による移動費用増も考えられるため。
清掃活動	住宅地が多いため、道の泥掃除に時間がかかる。
受益者負担	社会体育、社会教育が町の補助金で運営されているが、受益者負担に移行すべき時期に来ている。周辺の自治体においても、補助金の削減で活動が縮小しているところもあり、現状、町から10万円の運営補助をもらっているが、今後の活動を維持していくために、受益者負担のもと、自主運営をめざす。 スポーツ少年団はスポーツがメインであるが、文化的な活動(スポーツが苦手な人も)を望んでいる人もいますので、FAGクラブが受け皿になって、幅広い活動を目指していく。
活動の日程	夏場における訓練開催の日程の件。
移動手段の確保	現状維持が大変。会場へのアクセス、交通手段(車の運転手が必要)。ボランティアの登録による活用。
その他	役員会時、課題によっては役場の担当課に出席をお願いすることがあるので、了解してほしい。

(2) 川越町の現状について

問3 まちの魅力、特徴などはどのようなところだと思いますか。

まちの魅力、特徴などについて 28 団体から回答がありました。

内容として「暮らしやすい」、「利便性が高い」、「財政力が高い」、「取り組みが実現しやすい」、「人とのつながりが強い」、「若い世代が多い」などが町の魅力に挙げられています。

《まちの魅力、特徴など》

分野	まちの魅力、特徴など
暮らしやすい	利便性がよい。交通アクセスもよい。公園が多い(でも駐車場がない)。浜辺の海岸がある。公共施設もよい。都市でも田舎でもなくコンパクトなまちで良いと思う。
	交通の便が良い。商店街に恵まれ買い物など便利。子育て支援が充実している。
	交通の利便性。産業立地の良さ。子育て環境の充実、福祉の充実。人口増加傾向が維持されている。生産年齢人口が多く、人口構成バランスが良い。
	特に不便なことはなく、住みやすい町。
	朝明川を境に北部は田園地域、南部は商工業地域の様相がみられて、交通アクセスも整備され、教育・医療面での社会インフラが充実しつつ、居住環境が整ってきており、住みよい町である。各地区では地域おこしとして町指定の民俗文化財を保存、継承していく気運が高まっている感じがしている。しかし、近年では北部地域は一部の田園が宅地化されつつあり、田園風景を阻害していくのが懸念される。公園がたくさんあり、遊具も揃っていてきれいなところが良い。また学校が開放されているため、遊びに行けて体を十分に動かして遊べる場所も良いと思う。
	交通の便が良い。病院・スーパーマーケット・飲食店も多い。
	住みやすく、居心地の良さ。
	交通の利便性。子育て環境の充実。自然の豊かさ。医療機関や福祉サービスが充実している。
	生活に必要な環境が整っている(病院・スーパーなど)。交通の便が良い。
	小さな町なので福祉やサービスが行き届いて良い。
	高速のインターがあり交通の便がよい。川越緑地公園は広く親子連れに人気がある。温水プール、テラ46もあり、地域の人でにぎわっている。児童館が2か所もあり、どちらもきれいで先生方もすばらしい。
	名古屋や四日市など都市部に近く、交通のアクセスに優れている。財政的にも恵まれている。自然環境も恵まれているなど、子育てしやすいまち、住み続けたいまちと感じている。町外からの転入者についても、受け入れる雰囲気があり、地元の文化、祭りを後世につないでいく風土、伝承の取り組みも行われている。
利便性が高い	利便性が高い。
	交通(高速道路、一般道路)、電車等が便利である。
財政力が豊か	豊かな財政運営によって、子育て支援をはじめ、暮らしやすい。
	町運営に負担を感じないこと。町内に重大な問題がないこと。陸上少年団が頑張ってくれているところが良い。
	財政が豊かで、区長要望に対して誠意ある回答がある。防犯対策が比較的進んでいる。
	財政的に裕福な町なので子育てや福祉が充実している。
取り組みが実現しやすい	コンパクトなまちなので、何らかの取り組みが実現しやすい。子ども達が大切にされている地域だと思う。
	笑顔で安心・安全、小さな町で何でもできる。町共生社会づくり。
	小さな町なので、政策が行き届きやすい。地域の役員や民生委員等の顔が見える。
人とのつながりが強い	とても小さなまちなので、皆が顔見知りで、それが良くも悪くもある。若い方も多く、財政も豊なので、子育てもしやすいと思う。
	人や地域のつながりが残っていること。地域住民の地域に対する関心が高いこと。公民館や児童館、ボランティア施設等、拠点が充実していること。
若い世代が多	他地区と比較して若い世代が多い。

分野	まちの魅力、特徴など
い	若い人達が多いが、転入してくる人が多く、川越町に対して「愛」を持っているだろうか？古くからいる人々は「誇り」を持っているだろうか？と思ってしまう。民生・児童委員は地区の地区力を底上げする委員だと思うが。
子育てのしやすさ	スポーツ少年団の活動が活発で子育てがしやすい環境
行政と町民が密接	行政と町民の距離感が近く、親しみがあるところ。
環境	地区内に流れるきれいな水環境（ホタルやカワニナ（幼虫の餌）、鯉の住める環境）。

問4 まちの課題、問題点などとはどのようなところだと思いますか。

まちの課題、問題点などについて 27 団体から回答がありました。

内容として「会員、役員のなり手の確保」、「防災対策」、「ふれあいバスの改善」、「職員の資質やスキルの向上」などが挙げられています。

《まちの課題、問題点など》

分野	まちの課題、問題点など
会員、役員のなり手の確保	地区役員のなり手がなくなっていくのでは。自立した地区のあり方を目指す必要があること。
	核家族化の中、町内、地区内での各種団体の活動の先細り化(役員の選出など難しくなっていると感じる)。
	老人クラブ、女性会、民生委員、育成会など、維持が難しい事業がある。役員になると負担が大きくなり、なり手がない。役得がない。共助が必要なことは理解できるが、それを維持するための町からの助言、補助、支援がない。共助を盛り立てるための支援を町はすべき。
	従前の自治会活動は地区によっては、今後担い手不足で、活動の継続が難しくなっていくところもある。 各団体の活動を円滑化するためには、事業年度を年度末(3月末まで)に統一していく必要もある(自治会と活動団体で会計年度が違う、役員の任期も違うなど)。
防災対策	災害時(特に地震)等において地盤等が脆弱な地域であること。また、非常時における事業者の事業継続計画の策定が全般的に遅れており、災害後の復旧の遅れが想定されること。
	南海トラフなどの地震に備え、安心安全のため、各地区に避難タワーが絶対が必要。
	災害時の対応についての周知不足。
ふれあいバスの改善	ふれあいバスに反対周りがあると良い。また、中学校の建て替えの関係で、行事などに車で行けないのが不便(特に雨天)なので臨時バスなどがあると嬉しい。
	ふれあいバスが使いづらい。
職員の資質やスキルの向上	良い環境なので困った時とか相談しやすい状況なのに、それを活かせていない。役場の職員等の問題意識が低い。活気がないように感じる。
	ネット等の技術面や文化面が課題、役場の職員のスキルも。
高齢者対策	高齢化が進み、高齢者にも住みよいまちづくりで、免許返納した時の交通手段。ふれあいバスの工夫を。
	高齢化に伴う諸々の点
自然環境の減少	川越町庁舎内のビオトープの保全
	団地が増え、昔はあった自然が減っている。(川の埋め立て等)
空家・空き地対策	旧在所の中での空家問題が増えてくるのではないかと。川越町は人口が微増している中で、狭隘道路の問題の解消、空家を解決していくために、そういった物件を流通させていければウィンウィンの関係になるのではないかと。
	各地区空家・空き地の対策強化
人と地域とのつながり	人や地域のつながり、地域に対する関心を多世代に、より広げていけると良いと思う。
観光・イベントが弱い	観光含め、町外の方々に遊びに来て、と言えるところがない。
	川越町は行政からの行事、イベントが弱いと思う。「これから楽しくなるぞ！川越」を発案、発信してほしい。
定住促進	近鉄名古屋本線上にあることもあり、ベッドタウンになっているので、大丈夫かと思うが、手厚い子育て支援を受けた子ども達が大人になっても住み続けて町を支える立場になってもらえるようにする。
発信力や文化	情報発信、文化が弱い。
道路整備	町内の国道1号や歩道の整備をしてほしい。路面の凹凸が目立つ。
子ども・子育てへの支援	待機児童問題、中学校の学力問題。
	希望する保育園へ入園できない。
	生きづらさを抱えた子ども達(支援等を必要とする)の豊かな未来づくり。
施設・設備の改善	小学校・中学校の空調設備率が低調であり、災害時の避難場所として活用の弊害となることから完全空調へ計画的な整備の実施をお願いしたい。

分野	まちの課題、問題点など
ごみの分別、自治会費	ごみ問題(分別)できずに出されるステーションが多い。各地区での自治会費について。
雇用対策	地場で働ける産業や場所が少なく、定住に繋がらず他市町へ転居、移住している。
その他	住民の協調性が希薄になってきている。
	宣言の町
	全地区同様の悩みは少ないと思われ、地域差の部分はピンポイントで取り組んでほしい。

(3) これからのまちづくりについて

問5 多くの人に「住み続けたい」と思ってもらえるような川越町にするために、どのような取り組み（事業など）が必要だと思いますか。

住み続けたいと思ってもらえるようにするための取り組み（事業）のアイデアについて28団体から回答がありました。

内容として「暮らしやすさ」、「防災対策」、「こども・子育てへの支援」などが提案されています。

《多くの人に「住み続けたい」と思われるための取り組み》

分野	定住促進に向けた取り組みアイデア
暮らしやすさ	治安、交通アクセス、生活の利便性、まちに賑わいがあること、家賃が安いこと。 どこへ行くにも交通のアクセスが良い。生活の利便性が高い。周囲の環境が落ち着いている。治安が良い。災害に強い。
防災対策	防災の強化。 防災に強いまちをイメージできるように、防災訓練の回数をもっと増やしたり、勉強会を広く住民にも参加してもらったりする。 災害に強いまちづくりをめざす。 巨大地震に備えた津波対策。ハザードマップを定期的に配布する。町全体での避難訓練。子ども達への防災教育、避難所体験など。避難場所の周知。
子ども・子育てへの支援	妊娠～子育て～高齢者まで途切れない支援があること。子育て世代の支援を手厚くする。病児保育、とっさの時の最終的に診てもらえる所があることが一人ひとりに寄り添うことになる。補助も、マンパワーも拡充してほしい。保育士の拡充。 子育て支援 待機児童、学力向上
住環境の整備	インフラの整備・保守、福祉・子育ての充実、地域コミュニティの維持などの心配のない住環境の整備。 小さい田が多く、作業時間がかかるため、住宅地の間の田を川越町が買い取って住宅地として開発してはどうか。
公園等の整備	子どもが安全に遊べる公園や、スポーツができるグラウンドが必要。 小学生、中学生の利用できる公園があると良いと思う（町内の幼児、小学生低学年の遊ぶ公園が多い）。
公共サービスの充実	平均年齢が若い町なので、働いてる世代の方、それを支える高齢世代の方、みんなが平日休日問わず受けられるサービスなどが充実すると良い。 現在の行政サービス・スタンスを継続してほしい（例えば…子育て、教育など子どもたちの施策、高齢者施策が充実しているので、継続してほしい）。
イベント開催	川越町あげてのイベント・行事の開催。唯一の浜である高松海岸でのビーチバレー大会、清掃活動、キャンプ、バーベキュー。町内全域でのウォークラリー、マラソン大会。B級グルメの開発企画。中電公園を使用しての屋外コンサートやイベント行事、盆踊り、フェスティバル。桜並木を利用したの屋台、キッチンカーの出店など多様な事業などを行う。 町民運動会以外にみんなが集えるイベントでつながりづくり（昔に行われていた盆踊り大会など）。ふれあい祭と文化祭をわけて開催する。子ども（親子）ブースも募集する（ブース参加者が他へ見に行く余裕がないため）。
企業誘致、産業振興	大きな企業、魅力的な企業が町に来てくれれば、より財政も豊かになり、住民へより手厚いことができるので、住み続けたいと思える。病院、クリニックなども増えると嬉しい。 生活の基盤となる仕事があることや住める場所があること。 1次産業の育成、農地を活用した集団作業を盛り上げて後継者育成への土壌づくり。
支え合いの仕組みづくり	地域住民同士が支え合える仕組みづくり

分野	定住促進に向けた取り組みアイデア
コミュニティづくり	隣の人がどんな人かを知っている開放的な世間、社会を創出する。
生きがいのあるまちづくり	高齢者にとっても、生きがいがあるまちづくり。
笑顔であいさつできるまちづくり	心から笑顔であいさつできる町。子どもどまんなか共生社会づくり。
美しいまちづくり	町花(水仙)を町内、特に庁舎の周辺に植え、堤防など美しい町にする。
減税	税負担が多いため、川越町内で買い物をする場合に10%割引、クーポンを出すのはどうか？消費活動が増えれば税収入も上がると考える。
弱者支援	社会的に生活することへの困難さや社会に適応することが難しい人々への支援が必要。
その他	今の取り組みで良いかなと思う。
	以前よく言われていた「新地域支援事業」は進行しているのですか？
	第7次総合計画をもとに、より積極的に進めてほしい。
	長期的な骨太の方針が見えない。

問6 川越町に子育て世代が移住（転入）・定住してもらうためには、どのような取り組み（事業など）が必要だと思いますか。

子育て世代の移住・定住のための取り組み（事業）のアイデアについて 29 団体から回答がありました。

内容としては「こども・子育てへの支援」、「防災対策」、「イベントの充実」、「憩いの場づくり」などが提案されています。

《子育て世代に移住（転入）・定住してもらうための取り組み》

分野	子育て世代に移住(転入)・定住してもらうための取り組みアイデア
子ども・子育てへの支援	町独自の子育て応援支援金(桑名市のような)、引っ越し費用の補助、戸建てに対する建築費の補助、小学校の給食費無料化。
	子育て世代の優遇措置をこれまで以上に。例えば、住宅を建てると補助金が出る。引っ越しして一定以上住むと補助金が出るとか、引っ越し費用を一部負担するなど。「川越で子育てしたい」、「楽しい川越」と思ってもらいたい。
	子育てのサポートのPR(役場だけでなくボランティア)、公園、スーパー、レジャー、治安、予備校。
	子育てに関わり、育ちづらさ、育てづらさを抱える子ども達(例えば発達支援が必要、不登校など)に対する取り組みの充実。
	子育て支援が手厚い自治体でしょうか？学習面の充実、教育のレベルが高いかどうか、教育体制が整っているか？生活コストの安定、地域コミュニティ、子どもの医療費補助(川越町は18歳まで無料)。
	児童館等の福祉施設を北部地区に増設し、身近で通いやすさを売りにした場所の提供が必要と思う。
	保育園、幼稚園に希望すれば、みんなが入園できる体制づくりが必要。現状の保育所では未満児の育つ環境(部屋の大きさ、トイレ、空調)が整っておらず、保育士の身体の負担が大きい。子ども園への移行も遅く、幼稚園は休みが多いし親の負担が大きいと思う。より良い内容で進めてもらい、親も保育士も負担の少ない子ども園にしてほしい。
	児童館は2箇所あるが、療育を必要とする子どもが増えている中、その子どもたちを育てる場所として活用するは出来ないか？川越町は療育施設がなく、近隣市町を参考にするとか何らかの施策、行動をお願いしたい。療育施設や家庭で補えない基本的なことを指導したり、経験を積み重ねたりする場所を設けてほしい。
	保育所を良くするためにも、現場をしっかりと見てほしい。そのため、役場職員の方とか議員の方々に保育士の仕事の内容とか仕事を体験してもらって、現場を知ってほしい。待機児童が多いのも施設面と関係が深いと考えられませんか？施設作りの優先順位をもっと高めてほしい。
	保育士の拡充、すきま時間の利用、高齢者の子育て経験者の活用などに取り組む。
	保育所の充実(待機児童を出さない施設の整備等)、婚活事業も必要かも(マッチング会の開催)。
	待機児童、学力向上。
	教育費、給食費。
防災対策	現在小学校にのみ給食があり、中学校も給食にすれば、子育て世代の方は喜ぶと思う。
	防災対策の強化。
イベント充実	南海トラフなどの地震に備え、安心安全のため、各地区に避難タワーが絶対が必要。
	南小学校、北小学校の校庭を利用し、みんなが楽しめる夏祭りなどのイベントをしてほしい。
憩いの場づくり	三世代交流事業の推進。
	町内に老若男女が集えるおしゃれな公園、カフェ、憩いの場所がほしい。
公共サービスの充実	0歳児～100歳の人生の先輩にいたる皆さんにとって楽しく優しい憩いの場があると良い。
	平均年齢が若い町なので、働いてる世代の方、それを支える高齢世代の方、みんなが平日休日問わず受けられるサービスなどが充実すると良い。
	現在の行政サービス・スタンスを継続してほしい(例えば…子育て、教育など子どもたちの施策、高齢者施策が充実しているので、継続してほしい)。

分野	子育て世代に移住(転入)・定住してもらうための取り組みアイデア
住環境整備	インフラ整備・保守、福祉・子育ての充実、地域コミュニティの維持など、心配のない住環境の整備。
公園の整備	公園の遊具を増やす。ボール遊びのできる場所。あいさつ・声掛け運動の拡大啓発。子ども110番の家の協力者の見直しと拡大。
住宅のPR	魅力的な町にするには、手厚い社会保障が必要かと思うが、人口が増えて、出ていくお金の方が増えてしまうだけでは意味がない。転入者は必要なのでしょうか？転入者が必要ということであれば近隣を含め、名古屋市くらいまでの会社員の方々に向けて住宅関係のPRはどうでしょうか？(自分自身の経験から思う)
道の駅等の整備	子育て世代に移住してもらうには、道の駅で安価な地元の野菜等の販売があると魅力的だと思う。
雇用の場づくり	安定的に生活できる雇用があること。
減税	税負担が多いため、川越町内で買い物をする場合に10%割引、クーポンを出すのはどうか？消費活動が増えれば税収入も上がると考える。
奨励金の交付	住民税の納税者に祝い金(20年以上の住民とか)
助成金の充実	助成金は充分か？
共生社会づくり	障害者であろうとなかろうと、子どもを守る共生社会づくり。こどもどまんなか共生社会づくり。
その他	現状でも良い取り組みがされていると思う。
	施策は十分かと思う。
	北部地区は充分。これ以上はインフラが追いつかない。

(4) 今後の活動意向について

問7-1 貴団体において、川越町を良くしていくために、今後取り組んでみたいことはありますか？

回答のあった団体において、今後、取り組んでみたいことがあると回答したのは21団体となっています。

項 目	件数
1 取り組みたいことがある	21
2 特にない	10
計	31

《今後、取り組んでみたいこと》

分野	今後、取り組んでみたいこと
歴史文化の継承、防災教育	川越町の歴史や魅力について子ども達に伝えること。川越町内の施設見学。防災教育(簡易トイレや段ボールベッドなどの体験など)。
ホテルの保全活動	町内で3団体(地区)がホテルを見守る活動をしているので連携をとって仲間を増やしたい。
防災等の講演会	災害・人権・危機管理について、年1回の講演会。
保育のフォロー	幼稚園の降園後の一時預かり等、短時間保育のフォローができる取り組み。
文化財の周知	文化財の広報、年1回で良いのでパンフレット配布。
文化活動	スポーツ活動だけでなく、文化的な活動(スポーツが苦手な人もいる)など幅広い活動を開催していきたい。
ドローン活用	ドローンを利用した訓練
つながりや見守り	現在の取り組み(あいさつ、声掛け、子育て応援)を進めて、つながりあえる地域と、子どもが安心して健やかに育つ家庭づくりをめざしたい。 人や地域のつながり、地域に対する関心を多世代に広げ、地域住民同士が支え合える仕組みを作ること。給付事業の維持を含めたセーフティネットの構築。
地域活性化	地域活性化事業など
専門的な講習	より健康の知識を深めるための講習(医師等によるお話や体験談など)。
自然観察	ホテル飛翔会
サロン活動	現在進めている外国人との交流、子どもの居場所づくり(子ども食堂とか、学習支援)、子どもから高齢者までが集えるサロン活動。
子どもの参加	青少年育成事業を行っているが、もっとたくさん子ども達に参加してもらえる事業。
子ども食堂	子ども食堂、川越町内でどのような地区からも気軽に集まれる居場所を考える(ささえあい、空家の活用を再考する)。
交流できる活動	各地区の公民館が改修、更新されていくことから、現在も一部の地区で実施しているポッチャ教室や公民館を起点とした地区内散策ウォーキングに加えてニュースポーツの紹介など、身近な地区で集まりやすい場所で笑顔が見える活動を推進したい。
活動の復活	コロナ禍で小学校の運動会が縮小され、児童達と一緒に踊る機会がなくなり、復活できるとうれしい。
音楽祭	音楽祭(例・木曽音楽祭)。住民がボランティアで支えている。
イベント	さくらライトアップ事業を、桜まつりに発展させたい。
いじめ、不登校等対策	いじめ、不登校対策。
空家や通学路	空家問題、小学生の通学に関して。

問7-2 貴団体において、川越町を良くしていくために、町と協働で取り組んでみたいことはありますか。

回答のあった団体において、町と協働で取り組んでみたいことがあると回答したのは19団体となっています。

項 目	件数
1 取り組みたいことがある	19
2 特にない	12
計	31

《協働で取り組んでみたいこと》

分野	協働で取り組んでみたいこと
歴史文化の継承と企業との連携	川越町の歴史や魅力について子ども達に伝えること。川越町内の施設見学。防災教育の3点について協力いただきたい。また、川越町内の企業と連携して社会科体験ができるとよいと思う（将来川越町のために貢献したいという子が出てくると良いと思う）。
防災	きつとくる、必ずくる天災についての講演会(年1回)。 防災に関する取り組み。
保育のフォロー	幼稚園の降園後の一時預かり等、短時間保育のフォローができる取り組みについて、町との協働ができるとありがたい。
ビオトープづくり	ホテルの生育するビオトープを作りたい。
水路保全	このままの自然環境を守りたいので、用水路は現状のままにしてほしい。
地域活性	地域活性化事業など。 川越町、青年部、女性部で地域活性になる事業があれば協力したい。
団体との連携	各種団体との連携訓練。
多文化共生	既に取り組んでいる多文化共生事業、まちづくり事業の継続。
専門的な講習	町のお医者さん方による専門的な各分野での講習など(眼科、耳鼻咽喉科、整形、脳外科など)。
子ども食堂	子ども食堂など、川越町内でどのような地区からも気軽に集まれる居場所を考える(ささえあい、空家の活用を再考する)。
貸付制度	文化財の修理など高額になる時の貸付制度
イベント	各地区内で盆踊りはあるが、川越町全体でサマーフェスティバルの開催、皆で大盆踊り大会、ダンスなど。 現在、さくらライトアップ事業を行っているが、川越町と協力して、桜まつりに発展させたい。 町の社会教育の現状を共有し、FAGクラブがスポーツを苦手とする人たちも気軽に参加できるイベントの開催 毎年の川越音楽祭(出来る範囲の)
いじめ、不登校等対策、防災対策	いじめ問題、不登校問題、ジェンダー問題、防災、空家対策など
空家や通学路	空家問題、小学生の通学に関して

(5) まちづくりへの自由提案など

問 その他、川越町のまちづくりについて、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

その他、まちづくりへの自由提案については、11 団体から回答がありました。

内容として「祭りの伝承」、「町おこしイベントの実施」、「避難対策」などが提案されています。

《まちづくりへの自由提案》

分野	まちづくりへの自由提案
祭りの伝承	祭の伝承。若い人たちの出番を増やし、新たなアイデアを発掘する。
町おこしイベントの実施	消費活動を活発させるため、町おこしマラソン大会など、全国から人が集まるものを考えてみてはどうだろうか。
避難対策	避難(特に台風)の仕方を明白に。
農園づくりと多世代交流	家庭菜園できる、野菜作り体験や貸畑など、それを通して子育て世代や他の世代との交流。
行政	役場の担当者も異動で変わり、ノウハウが蓄積されず場当たりの委員会になっている。
施設改善、人口規模、学校給食、水仙	スポーツ施設のリニューアル提案。特に町民体育館は利用者も多くあり、空調管理の行き届いた近代モデル施設化を長期ビジョンに織り込み、具現化を熱望する。なお、付帯している町民プールも長く使用停止となっており、オールシーズン利用可能な施設への変貌は町民からも期待されているのではないかと。 当町の人口が過去10年間で伸長は不明だが、現在概ね1万6千人弱と人口が横這い状況に思ふ。目標2万人規模を想定した当町のあるべき姿を画策願いたい。 プールは、夏に唯一親子との触れ合いの場所、子ども、友だち同士とのコミュニケーションを深める場所がなくなり、暑さしのげないのでプールは大切に、早く作ってほしい。中部電力のプールでは幼児が遊べない。 学校給食は、近隣の市町では始業式、終業式のみ給食なし日。川越町は2～3日前から給食がないのはどうしてなのかを知りたい。親も子も給食があると助かるし大切だと思う。 川越町の花は水仙だが、川越町内に水仙が少なくないか。目立たなくてもいいので、さりげなく環境の変化や心が和むような環境作りや場所を作ってほしい。(花とか、ベンチとか、絵とか・・・)
施設改善	人工芝のグラウンドがあるといい。
公民館の利用緩和	各自治会の公民館での利用の緩和。地区の管轄となるので、難しいかも知れないが、各地区の住民だけでなく、利用する住民がその地区に一人でもいれば仲間同士でも利用できるようにできないのかと考える。
クラブ活動の地域移行	クラブ活動の地域移行が今後進んでいくが、FAGクラブは受け皿になっていくのか？ 現在、指導の位置づけはボランティアであり、スポーツ保険などでカバーされていると思う。クラブ活動の地域移行について、町が指導者の身分保障を行う必要がある(休業補償、賠償責任など)と考えている。本人がけがをした場合など、仕事をしている人は会社にも迷惑をかける、家庭にも迷惑をかけるなどリスクしかない。
川越市との交流やロケ地誘致	「かわごえ」つながりで、埼玉県川越市との交流を通じてまちづくりの参考にする。映画、ドラマのロケ地として高松海岸、中電公園など、町内をアピールする。
笑顔のまちづくり、危機管理	笑顔で安心・安全のまちづくり推進協議会 川越町危機管理方針、川越町危機管理計画の策定。